

所蔵品展示来場者アンケートの結果

催 事 : さいたま市所蔵品展 人形に捧げた生涯 西澤笛畝の足跡

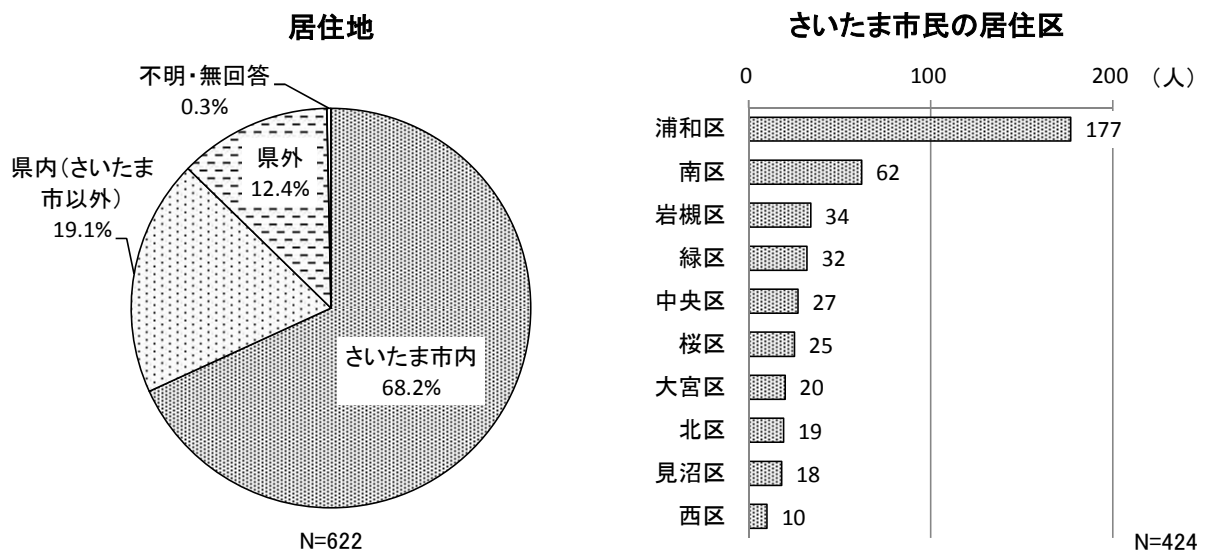
日 時 : 平成 27 年 2 月 27 日 (金) ~ 3 月 8 日 (日) 10 : 00 ~ 17 : 00

場 所 : うらわ美術館 (浦和区・浦和センチュリーシティ 3 F)

問 1 居住地

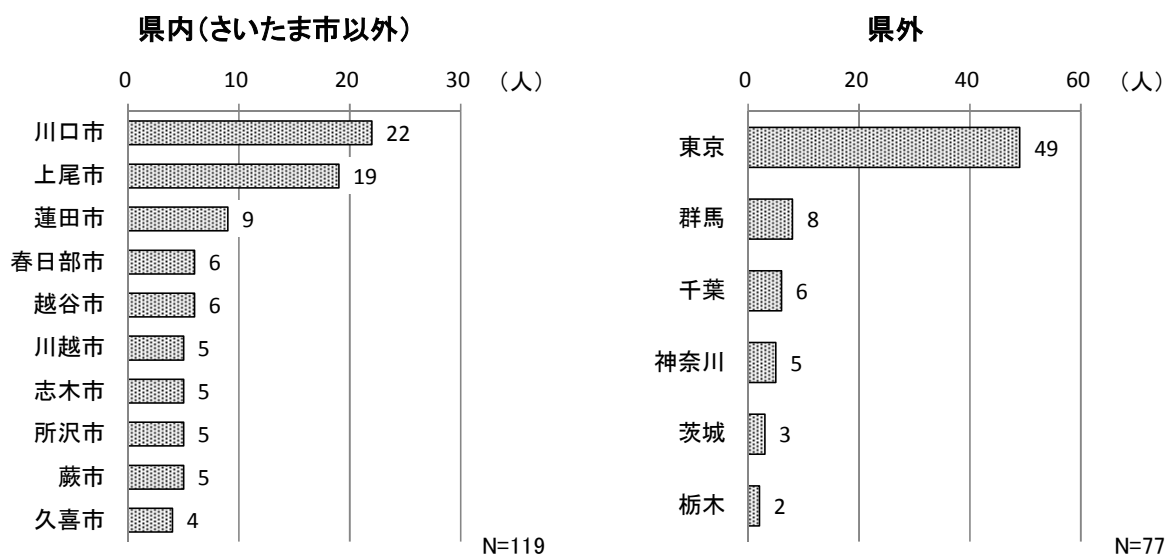
アンケート回答者 622 人のうち 424 人 (68.2%) がさいたま市民であった。

区別では、浦和区の 177 人 (さいたま市民の 41.7%) が最も多く、次いで、南区 62 人 (同 14.6%)、岩槻区 34 人 (同 8.0%)、緑区 32 人 (同 7.5%) であった。



さいたま市以外の県内は 119 人 (19.1%) で、その内訳では、川口市の 22 人、上尾市の 19 人が多かった。

県外は 77 人 (12.4%) で、うち 49 人が東京都であった。



※上記以外の県内

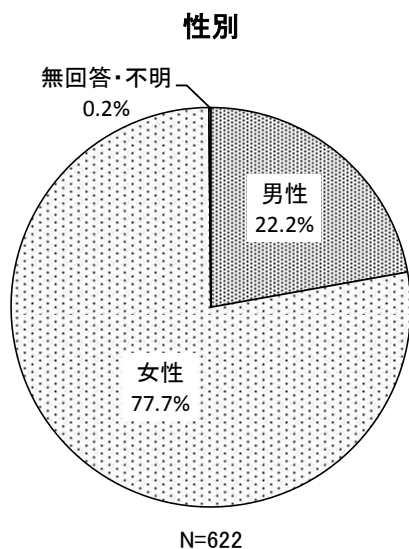
- 3人：朝霞、伊奈、鴻巣、坂戸、羽生
- 2人：入間、加須、戸田、三郷
- 1人：桶川、北本、熊谷、白岡、草加、新座、飯能、日高、深谷、八潮

※上記以外の県外

- 静岡、兵庫、山形各1人

問2 性別

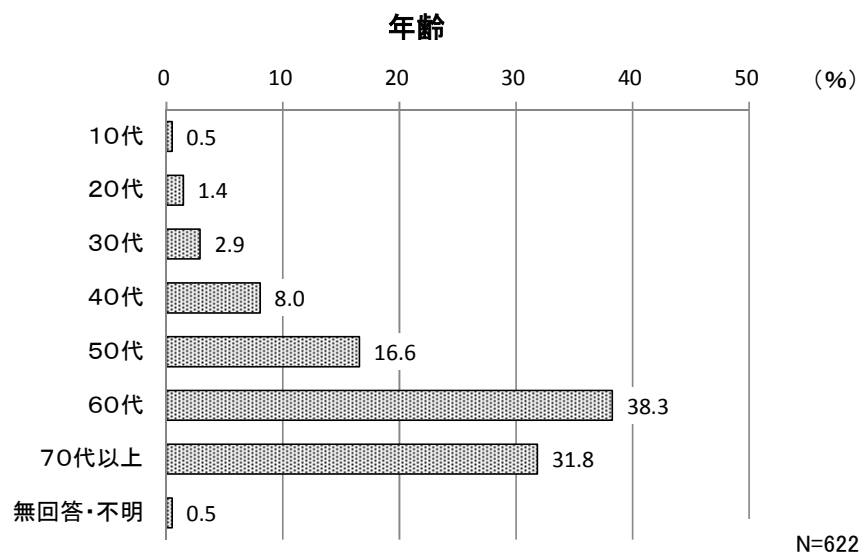
女性が全体の77.7%を占め、男性は22.2%であった。女性は、雛飾りや玩具として、幼少の頃からの人形に触れる機会が多いためか、男性に比較して関心の高さが窺われる。



問3 年齢

60代が全体の38.3%を占めて最も多い。次いで70代以上が31.8%で、60歳以上が全体の7割を占めている。

一方、40代以下は12.8%（80人）にとどまった。

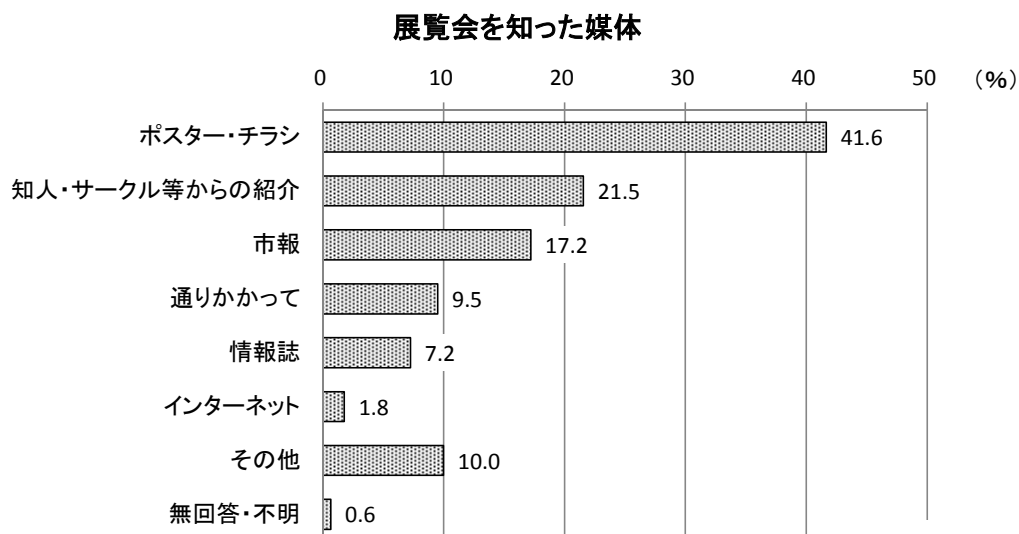


N=622

問4 展覧会を知った媒体（複数回答）

「ポスター・チラシ」が41.6%で最も多い。次いで「知人・サークル等からの紹介」が19.5%、「市報」が13.2%の順となっている。

「その他」では、市からの案内状（15件）、新聞（13件）、自治会の回覧等（12件）が多かった。

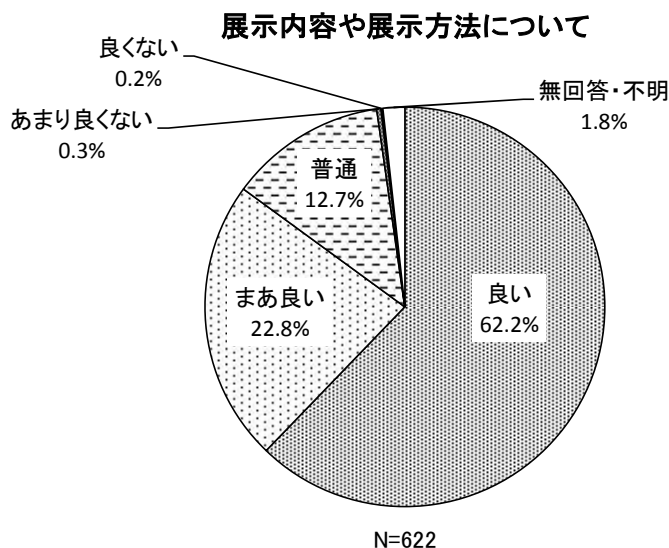


N=622

問5 展示内容や展示方法について

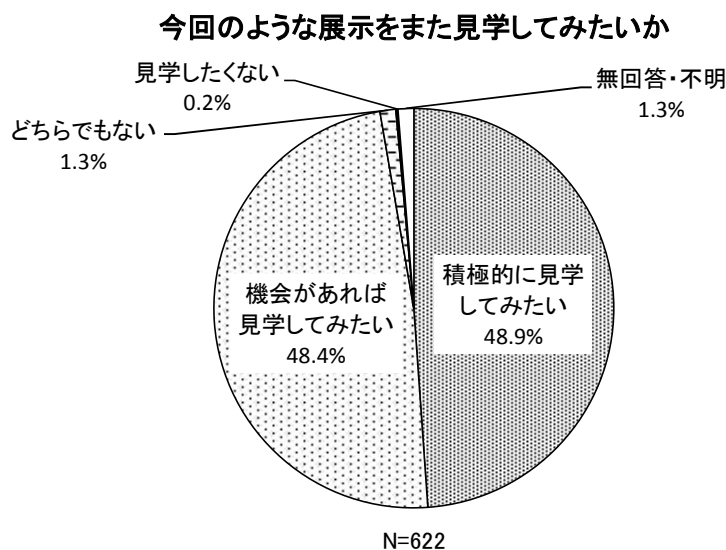
展示内容や展示方法については、「良い」が62.2%、「まあ良い」が22.8%で、全体の85%が満足の傾向を示している。

「普通」は12.7%、「良くない」あるいは「あまり良くない」は0.5%であった。



問6 今回のような展示をまた見学してみたいか

「積極的に見学してみたい」が48.9%、「機会があれば見学してみたい」が48.4%で、全体の97.3%が、今回のような展示の見学に前向きな意向を持っている。



問7 展示品で印象に残ったもの（自由記述）

今回の展示品で印象に残ったもの（自由記述）について、キーワード検索を行った結果は下表のとおり。

作品の個別名称では、次郎左衛門頭立雛、享保雛、芥子雛、御所人形などが多かった。

N=622

項 目	件数(人)	アンケート回答者 622人中の得票率
1 江戸時代の雛	127	20.4%
寛永雛	22	3.5%
享保雛	41	6.6%
古今雛	11	1.8%
次郎左衛門頭立雛	44	7.1%
立雛(次郎左衛門頭立雛以外の記述)	27	4.3%
2 玩具絵屏風	89	14.3%
西澤笛畝 玩具絵貼交屏風	14	2.3%
清水清風 玩具絵・書簡貼交屏風	14	2.3%
3 芥子雛	39	6.3%
4 御所人形	38	6.1%
5 野口光彦	37	5.9%
富士雛	28	4.5%
鏡と子供	4	0.6%
6 世界の人形	31	5.0%
韓国の人形	4	0.6%
中国の人形	4	0.6%
タイの人形	14	2.3%
7 アメリカ夫人人形 YONEKO	23	3.7%
8 けしびな	22	3.5%
9 平田郷陽「夢」	22	3.5%
10 笛畝の写生帳・スケッチ	18	2.9%
11 式三番	12	1.9%
12 久保佐四郎「朧夜」	11	1.8%

問8 イベントへの参加経験（自由記述）

他の美術館や博物館で開催されるひな祭りの展覧会、岩槻や鴻巣などでの雛イベントに行ったことがあるか（3年以内）については、岩槻区あるいは岩槻区で行われる各種イベントを記入した人が105人で最も多く、全体の16.9%を占めた。

岩槻区以外のさいたま市内では、「二木屋」のほか、今回と同種の展示イベントを実施したことがある「大宮盆栽美術館」や「プラザノース・北区役所」もあげられていた。

行ったことがある場所 Top 10

N=622

	場 所	件数(人)	%
1	岩槻	105	16.9%
2	鴻巣	45	7.2%
3	二木屋(北浦和)	28	4.5%
4	目黒雅叙園	26	4.2%
5	大宮盆栽美術館	19	3.1%
6	プラザノース・北区役所	15	2.4%
7	遠山記念館(埼玉県川島町)	14	2.3%
8	三井記念美術館	13	2.1%
9	真壁(茨城県桜川市)	9	1.4%
10	東京国立博物館	4	0.6%
10	中野区歴史民俗資料館	4	0.6%
10	飯能市	4	0.6%

問9 感想、要望等（自由記述）

全体的に今回のイベントに対して好意的な印象の記述が多く、拝観者の満足度は高かったものと推測できる。

意見や要望として最も多かったのは(仮)人形会館に関するもので、32人(全体の5.1%)が早く造って欲しい、開館を楽しみにしている等、(仮)人形会館の開館に期待を寄せていた。

西澤笛畝に対する評価の声も多く、西澤笛畝を初めて知った、素晴らしい、貴重なコレクションなので大切にしたい、といった意見が寄せられた。

展示場設営に関しては、説明文・キャプションに対する苦情が26件と多かった。位置が低い、位置や明るさの加減等で読みづらい、屈んで見るのは高齢者にとって辛いなど、来場者への配慮が求められる。なお、学芸員の説明はわかりやすくて良かったという感謝の言葉もあった。

照明については、暗さを指摘する意見が多く、外からは展示をやっているのかどうかわからなかったという意見もあった。説明文の掲示と併せて、工夫を要する部分である。

	主な自由意見	件数(人)	%
1	(仮)人形会館への期待 (早く造って欲しい、開館が楽しみ等)	32	5.1%
N=622			
2	説明文・キャプションに関するもの (位置が低い、読みづらい等)	26	4.2%
3	西澤笛畝への評価 (初めて知った、貴重なコレクションだ等)	25	4.0%
4	ワークショップへの評価 (ぬり絵が楽しかった等)	9	1.4%
5	照明に関するもの (照明が暗い、照明を工夫して欲しい等)	8	1.3%